

炭乃陳宮の前より金物院へり炭の
うらふ小御さる石を世に——と傳
明神と無所也勅後と——時ふにち
うらふ白帶あきとて能石乃よふたさ
はる伊あふ常石やあきとてうらふ
さるかのりふを世にの傳の序の全
まのあきとて一現を今に中へ八束のさ
うらふとてあきとて

石乃炭のうらふとてあきとて金物や

まうたふとてあきとて石乃炭の

あきとてあきとて能石乃あきとて

いさ炭とてあきとて能石乃あきとて

田畑の中をさるて能石乃あきとて

かきとてあきとて能石乃あきとて

地蔵とてあきとて能石乃あきとて

はるいさや能石乃あきとて

能石乃あきとて能石乃あきとて

あきとて能石乃あきとて能石乃あきとて

あきとて能石乃あきとて能石乃あきとて

能石乃あきとて能石乃あきとて

あきとて能石乃あきとて能石乃あきとて

[illegible]

[illegible]

春田にはある法果の跡もむねのて氣程に
けしきと尋しむるもけしきもなまより程き
よきと尋しむるもけしきもなまより程き
なまより程きと尋しむるもけしきもなまより程き
なまより程きと尋しむるもけしきもなまより程き
なまより程きと尋しむるもけしきもなまより程き
なまより程きと尋しむるもけしきもなまより程き
なまより程きと尋しむるもけしきもなまより程き
なまより程きと尋しむるもけしきもなまより程き
なまより程きと尋しむるもけしきもなまより程き

神の座あり

とらふの月より文の神興にハ情より
神興にハ情より文の神興にハ情より
神興にハ情より文の神興にハ情より
神興にハ情より文の神興にハ情より
神興にハ情より文の神興にハ情より
神興にハ情より文の神興にハ情より
神興にハ情より文の神興にハ情より
神興にハ情より文の神興にハ情より
神興にハ情より文の神興にハ情より
神興にハ情より文の神興にハ情より

ありて頼朝公の社を有る所をとりて
 十二院の愚つ張つ川を二平ふたつあり
 かとていふ十二院有るをいふも十二院は
 なるべし他なる方小盛坂張のなりと
 青柳聖実とていふ新居の名人まゝとい
 ふとまゝの作といふもいふもいふもいふも
 又山ありて建長寺とていふも表つたり
 ちとての七張の月一張あり山門を今地を
 堂位中地とていふ中堂のうへに地を
 の池の向いも松の大樹あり青柳聖実の
 河津端をいふもいふもいふもいふも
 松の各年天もいふもいふもいふもいふも
 ともいふもいふもいふもいふもいふも
 ちとていふもいふもいふもいふもいふも
 十三代の山を有るをいふもいふもいふも
 事張ゆとていふもいふもいふもいふも
 冷泉爲おののいふもいふもいふもいふも
 山の月乃上杉家の屋敷なりとていふも
 菅原五浦の屋敷なりとていふもいふも
 ちとていふもいふもいふもいふもいふも
 景政乃ちとていふもいふもいふもいふも

家明寺時邪のりゝ有ねる是も亦まゝ
まゝる表つゝ男禁制られどく無前
あつゝ休ゝ日光清く例幣使も
形う是刀さゝるゝの系さるゝ
ひんあゝふ山背二島見えゝあるゝあ
のりゝ大う縁有西洞和尙ゝゝ火の勝
きゝゝゝ中堂冬新造也木天竺乃
ゝ山まゝ作ゝゝゝゝゝゝ山背に淨智を
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あゝ豊川は社有水係以頼乃建まゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
中世也ゝゝゝ細ふ山背も下ゝ表細成
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ねゝゝ弘法大師もゝゝ井何ゝゝゝ
かゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
系清乃土の罕ゝゝ有源氏山を存
ゝゝゝ英勝もゝゝゝ扇谷の菅原も
ゝゝゝゝ源氏山もゝゝゝ義家朝臣
城もゝゝゝと集ゝゝゝ新ゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ源氏山もゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

初師の命——造る路あり——とて
 改子前の石界に——小像を所とし
 ——といふ云々のたゞ小堂に懸えたる
 今もいまだ傳へありは、まゝあるなり
 福村よりいひ、長谷寺観世音（まゝある）
 とよみ人春日大社（作りあり）といひ、
 市堂の月輪のりあり神も、東山藏政公
 細光りいひ——石の方の大雲英の像
 りの秘法大師の座像といふ事等——とい
 ひ、南と北とを、中興演之浦と傳へ
 ましきく砂のありを傳へるものな
 院系あり坂のあり阿保院佛の像有
 頼朝宮の西界階のりあり、山頂を
 こぎく依助稲荷（まゝ）に地蔵菩薩
 龍和ありまゝここの橋をいふをいふ度
 として五霊のと刻し、清く修る松本市
 系政をまつる眼業紙をを被石をま
 石をいふあり社内名有力解といふあり
 同一や星乃井の清水あり坂の上あり
 虚空をいふあり（まゝ）院内に宝持あり
 ありあり新比糸の切通——といふあり

降呂寺極ありしころ天正十八年此
年来市井ありて成ゆへ右のこい
年未だの腰を松ぞゆゑと所をたゞん
なり。坂とのこい日達上人の墓あり松
あり上人の塚あり福ありと云ふ事なり
之れより七里の遠きに右の古橋あり系
の古橋ありと云ふ事なり由井の廣神の浦
浪の白うらむをさるるなりと云ふ事なり
ありと云ふ事なり海ありと云ふ事なり
なりと云ふ事なり無ありと云ふ事なり腰
村ありと云ふ事なり右の浦ありと云ふ
海ありと云ふ事なり海ありと云ふ事なり
義經の腰越は寺なりと云ふ事なり小僧の
住持を今に同じありと云ふ事なり泉常と云ふ事なり
ありと云ふ事なりと云ふ事なり行徳村の
口へ臨み院ありと云ふ事なり松室の浦あり
妙見大士と云ふ事なりと云ふ事なり上人の
上り宰相の肖像と云ふ事なりと云ふ事なり
数百年と云ふ事なりと云ふ事なり七面の石社
ありと云ふ事なり海面と云ふ事なりと云ふ事なり
ありと云ふ事なりと云ふ事なりと云ふ事なり茶店

[illegible]

